

エスペランサ靴学院の目指すもの

エスペランサ靴学院では、靴づくりの技術を学ぶ学校ではなく、生徒と現場を持つ講師とが一緒になって靴文化を作っていく、そんな学校を目指しています。

「靴はもっと自由だ」という言葉、言葉の軽やかさとは裏腹に非常に重い言葉です。

靴がファッションであるということだけでなく、機能（安全や健康）にも最大の注意が置かれ、また産業としてもどう成り立たせていくかという至上命題があります。このジレンマの中、靴に魅せられた人たちが日々試行錯誤しているのが「靴」です。このファッション、機能、産業という3つを押さえた先にのみ「自由」があります。

だからこそ、靴文化の将来を作るためには、その3つ全てに前のめりで取り組む必要があると感じ、業界の第一線で活躍しているOBを中心とした運営へと移行するため2021年に大阪へ移転しました。

講師陣は専門のインストラクターではなく、靴業界の第一線に身を置く実務者ばかり。教えることだけでなく、その先にある「靴文化の将来」のために集まりました。

これから靴づくりで新たな挑戦をしようという受講生のみなさんの様々なアイデア・発想・感性と、講師の現場感が融合することで、この学校から新たな靴文化を創造していけると確信しています。

エスペランサ靴学院とは



エスペランサ靴学院は、1973年に日本で初めて設立された靴づくりの学校です。現場の第一線で活躍するプロから、製靴についての専門技術・知識や、靴ビジネスの起業や経営などについて、1年間かけて学びます。2021年より東京・浅草から大阪・芦原橋に移転しました。



エスペランサ靴学院 学院長 大山一哲

1972年大阪生まれ。エスペランサ靴学院卒業後（第19期生）、イタリア・ミラノのARS国際製靴学校へ留学。帰国後、大山製靴にて、製造・企画・営業と、靴の仕事に関する全ての現場を経験し、コレクションシューズ等も多数手掛ける。現在は株式会社ロカシューにて、国内のみならず海外にも自身の靴（numero uno io）を展開すると共に、次世代の靴業界を担う若者の育成にも積極的に取り組んでいる。

エスペランサ靴学院

〒556-0027
大阪市浪速区木津川2丁目3番8号
Aワーク創造館内
TEL 06-6562-0410
FAX 06-6562-1549
Mail 2020osaka@shoeschool.jp
Web <https://shoeschool.jp/>
Facebook @shoeschool.jp
Instagram @shoeschool_jp
Twitter @shoeschool_jp

靴はもっと自由だ

エスペランサ靴学院の授業について

1年を通じて確かな製靴の知識と技術を身に付けてもらう「製靴」プログラムと、「靴でどうやって食べていくか」を学ぶ「ビジネス」プログラム(商品企画やデザイン、マーケティング、ブランディング、販路開拓、開業、経営、金融など)との2つが柱になっています。

講師陣は関係業界の第一線に身を置く現役の実務者です。これから靴の仕事にチャレンジしようという受講生と一緒に、単なる学校ではなく、新たな靴ビジネスの拠点になることも目指しています。

授業概要とカリキュラム

開講期間 毎年4月開講 - 翌年3月卒業

授業時間 9:30~15:30(月~金)

総日数 220日(1年間)

技能コース/135日

ビジネスコース/80日

その他/5日

4月

7月

10月

1月

3月



パンプス



サンダル



外羽根



内羽根



木型



スニーカー



ハンドソーン&自由課題



入学式



資材屋&工場等見学



タンナー工場見学



マーケット出店



応用技術講座



卒業制作展



卒業式

技能

ハンドソーンウエルテッド製法をはじめ、セメントテッド製法、マッケイ製法、ノルウィージャンウエルト製法等で年間10足~15足の靴を制作します。現代的な製法と伝統的な手製製法が持つそれぞれの利点を理解して技術力の土台を作ります。

製靴(パンプス・内羽根・外羽根・サンダル・バルカナイズスニーカー・ハンドソーン等)、靴型(足の計測・木型切削等)、型紙、トレーニング

ビジネス

卒業後の選択肢を広げるために、靴づくり以外の様々な応用技術を学びます。また、新規事業計画づくりの一連の流れを、最新の動向やケースなども見ながら学び、実際にワークショップ形式で自身の事業計画を作成し、独立開業を目指したプログラムになっています。

商品企画、販路開拓、ブランディング、起業・経営・金融、SNS活用、素材、リペア、パティース、バッグ、シューフィッティング、ウォーキング、Photoshop & Illustrator等

